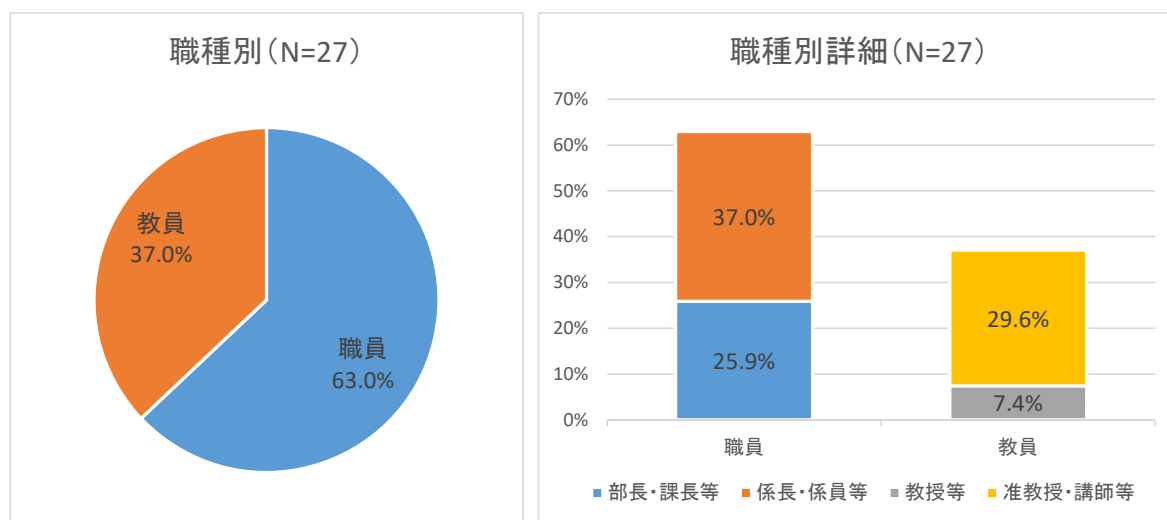


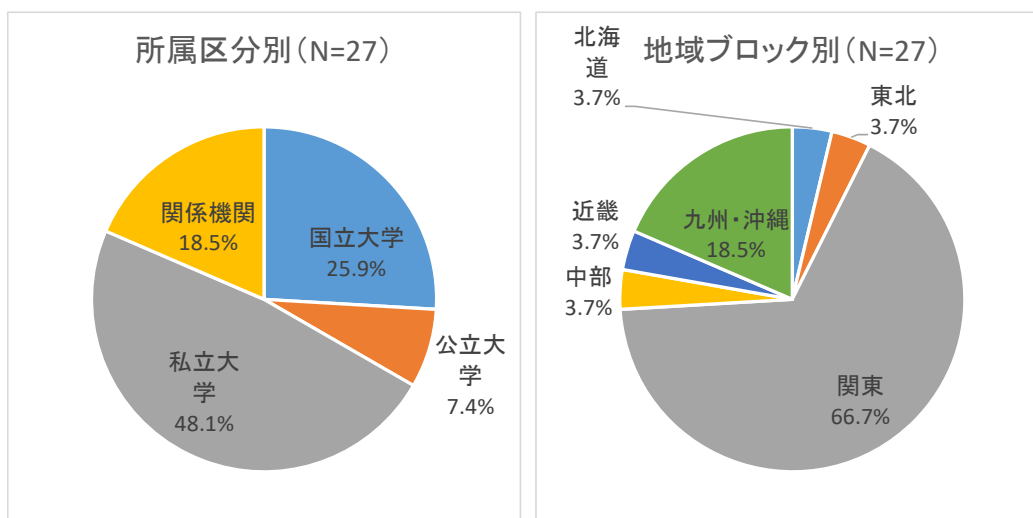
○ 参加者について（概念的セッション）

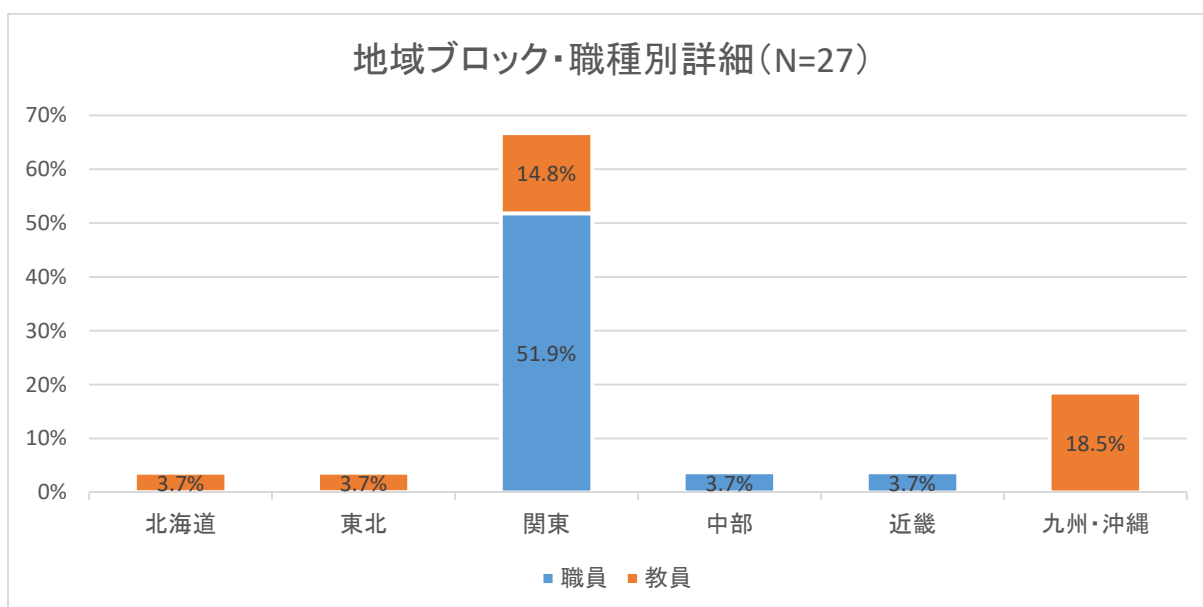
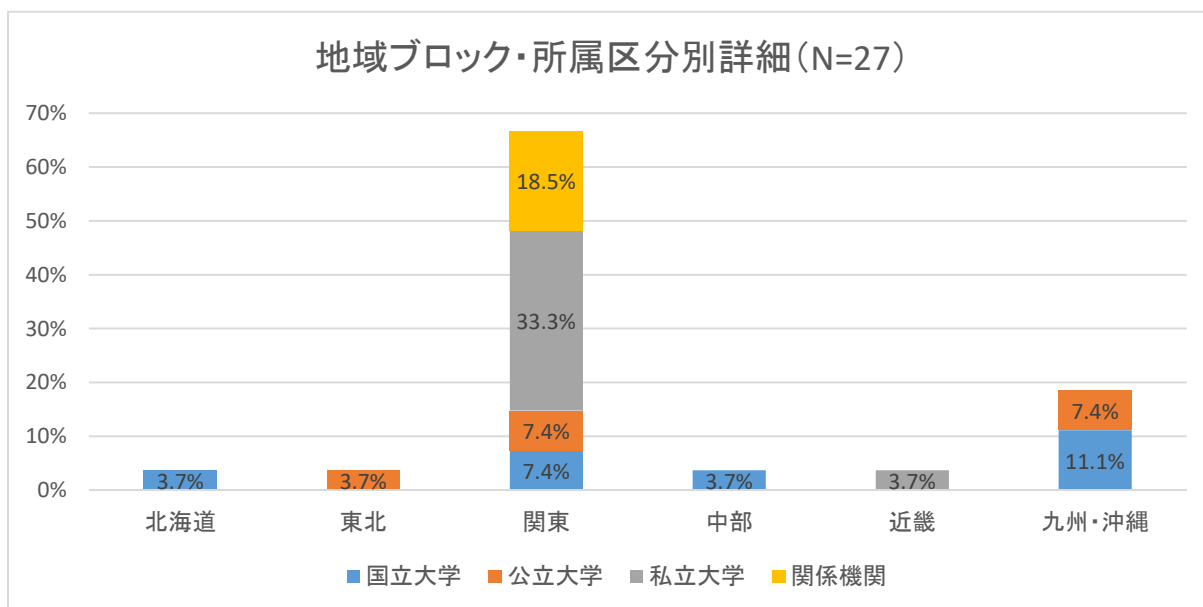
平成 29 年度第 3 回 IR 実務担当者連絡会（概念的セッション）には、27 名の教職員等が参加しました。各参加者が申し込み時に申請した所属・職種等の情報を基に、参加者の属性分析を行いました。なお、「参加者」とは、国公立大学及び関係機関の「通常会員」であり、運営スタッフである「幹事」を 5 名含んでいます。



職種別の参加者比率は、職員が 63.0%、教員が 37.0%でした。また、職員の職層を「部長・課長等」及び「係長・係員等」、教員の職層を「教授等」及び「准教授・講師等」に分けて示します。職員の係長・係員等が 37.0%と最も多く、次が教員の准教授・講師等で 29.6%でした。教員の准教授・講師等のほとんどが本運営スタッフであったものの、一定数の教員が参加していました。

所属区分別では、私立大学が 48.1%を占めていました。本コンソーシアムが行う通常の勉強会等では国立大学からの参加者が多いですが、今回は私立大学と関係機関からの参加者が増えました。また、地域ブロック別では、関東地区が 66.7%と最も多く、次が九州・沖縄地区の 18.5%





で、会場が明治大学だったこともあり、関東地区からの参加者が大半を占めていました。

地域ブロック・所属区分別では、関東地区の私立大学が 33.3%と最も多く、次が関東地区の関係機関で 18.5%でした。また、本セッションでは、公立大学からの参加者も一定数見られました。地域ブロック・職種別では、関東地区の職員が 51.9%と半数以上を占めており、次が九州・沖縄地区の教員で 18.5%でした。

今回の参加者は、関東地区の私立大学教職員が多く、大学評価・IR 人材の育成、IR 担当者の研究活動、IR 組織の在り方、我が国における大学評価制度の現状と課題、内部質保証システムの考え方等、我が国における大学評価・IR の動向に関する情報収集や自組織との違い等について参加者同士で意見交換することを目的に参加していると推察され、本セッション（連絡会）の開催主旨に合致しているものと考えられます。

（大野 [鳥取大]）

■ 区分表（共通）

地域ブロック	説明
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、三重県、滋賀県、和歌山県
中国・四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
その他	米国

職種	職種区分	説明
職員	部長・課長等	部長、課長、課長補佐、副課長、専門員、グループ長、グループリーダー、総括主査、事務長、室長、次長、部長、参事、副参事、など
	係長・係員等	係長、主任、主査、主事、専門職員、課員、係員、チーム員、職員、スタッフ、所員、特任研究員、など
教員	教授等	学長、副学長、学長補佐、部局長、教授、など
	准教授・講師等	准教授、講師、助教、など